

## 会議の内容

- ・委嘱状の交付を行い、委員の自己紹介後、関係法令の説明を行う。
- ・正副委員長の選出を行い、委員長に本間 進委員、副委員長に新井ひろこ委員が互選された。
- ・委員長あいさつの後、同委員長を座長とし、議事に入る。
- ・事務局から大胡公民館の概要及び平成29年度大胡公民館事業計画について各担当より説明、さらに大胡地区コミュニティデザインの概要を紹介し、質疑応答と意見交換を行った。

### 【主な質疑・意見等】

(佐藤委員)

文化祭の将棋大会はどういうものなのか。

(阿部委員)

文化協会の大胡将棋クラブ主催で毎年開催している大会で、レベルによってクラス分けをして対局をするもの。

(事務局)

中町公民館で大胡将棋クラブを中心に開催し、去年は18名参加した。A～Cの3クラス、トーナメント方式でおこなわれ、年齢制限は特になく、小学生でも指せれば参加できる。

(新井副委員長)

将棋の話に関連して、高齢者のサロンに男性が出てきてくれないのが大きな課題であり、そこで将棋とか囲碁をもってきたらどうなのかなと感じている。

(事務局)

文化祭の一環で囲碁大会も開催している。また、大胡囲碁クラブは、旧下町公民館を拠点として長年にわたり続けている。

(阿部委員)

将棋に関連して、文化協会からPRですが11/3、4が臨江閣リニューアル企画で竜王戦が行われる。子どもの大会もあるということなので興味があれば是非。

(臼田委員)

私の選出が、公民館利用団体代表となっているがどういうことなのか？

(事務局)

他館では、公民館利用団体連絡協議会(連協)という組織ができているところもある。大胡公民館には、組織がないことから自治会連合会や地域づくり関係の役員をされていた臼田さんに声がかかったのではないかと思う。

(本間会長)

事務局で利用団体の組織化の検討や他館での選出委員の構成などを研究してもらいたい。

(臼田委員)

老人クラブ連合会の活動については、公民館はあまり関わりがないのか？

公民館事業や体育協会等の行事などを見たところあまり感じない。

(事務局)

事業計画で説明したこぶし教室は高齢者学級として実施している。また、地域づくり講座では、主に健康をテーマとしたメニューを考えていることから高齢者にも参加しやすい講座だと考える。

(本間会長)

老人クラブ連合会は、独自行事での年間事業を数多く実施していることから、あえて公民館で面倒見てもらうことも無いような気もしますが、必要であれば老連役員と打ち合わせの場を設けてみるのも良いのではないかと。

(松村委員)

学校としては文化祭、音楽祭など、また連携事業等で大変お世話になっている。これからも子供たちが多くの行事に出られるようにしていきたい。

(笠原委員)

感想として、初めの資料にもあるように、高齢化社会が進んでいることを実感する。今後も子育てを支援できる事業を意識しながら進め、高齢化を少しでも阻止できるような事業を皆で考えていく必要がある。

(萩原委員)

毎年、あかちゃん訪問をしており、昨年は100人ほど回ったが、それでも資料によると5年間で子供たちも減っているというので驚いた。公民館事業においても小さい子供たちを見守る活動をしているので、これからも若いお母さんの支援をしていきたい。

(山口委員)

通年で、子どもから大人まで集いあえる行事があると良いと思う。

(本間委員長)

幅広い世代間の交流ということでは、先日、社会福祉協議会でふれあいサロンを開催するにあたり、たまたま人権擁護委員が映画(DVD鑑賞会)の集いを併せてすることになった。高齢者だけでなく子どもとその保護者等の幅広い年代の集いとなり大変良かった。

(本間委員長)

他に意見がないことを確認し閉会する。